

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会

一般社団法人環境共生住宅推進協議会（以下「kkj」）は、環境共生的な視点から住宅を構成する建材や設備の環境性能について独自の推奨基準を定め、これに適合する建材や設備を「環境共生住宅推奨部品」として推奨し、環境共生住宅の普及推進を進めてまいりました。

平成28年より、外皮の断熱等性能に関する「平成28年省エネルギー基準（等級4）」、「ZEH基準（等級5）」を満たすことができる環境共生住宅推奨部品の組合せをご紹介する冊子『お勧め建材ガイド』シリーズを各省エネ地域区分ごとに発行してまいりましたが、本年4月、同シリーズを刷新した「脱炭素社会を目指す住まいづくりのための『お勧め建材ガイド』＜外皮6地域編＞」を発行しました。

同時に、新たに「脱炭素社会を目指す住まいづくりのための『お勧め設備ガイド』シリーズ」をスタートさせ、その第一弾として＜一次エネルギー消費量6地域編＞を発行しました。

この度、『お勧め建材ガイド』＜外皮6地域編＞及び『お勧め設備ガイド』＜一次エネルギー消費量6地域編＞を中心に、住宅の省エネ基準への適合、ZEHの標準化、さらにはより省エネ性能の住宅の普及等、昨今の動向も踏まえた第15回Webセミナーを下記のとおり開催いたします。

住宅の省エネルギー性能を高める一助となるよう、是非、ご参加ください。（※）

（※ご参加にあたりましては、3枚目の【参加申込み方法】をご参照ください。）

○住宅の省エネ基準への適合義務化や断熱等性能等級・等級5の創設、近い将来のZEHの標準化を見据え、H28年省エネ基準、ZEH基準等の断熱等性能を満たす断熱材・開口部等の組合せ、一次エネルギー消費性能を満たす設備機器の組合せをご紹介いたします。

○6地域における充填断熱工法、外張断熱工法および付加断熱工法、代表的に用いられる省エネ性能の高い設備機器を組合せた一次エネルギー消費量の目安について、具体的な環境共生住宅推奨部品をご紹介します。

【開催概要】

開催日：令和4年10月12日（水）13：30～15：00「Zoom」を用いたセミナー
（事前に「Zoom」のインストールをお願いいたします。）

プログラム：①住宅の環境性能に関する背景

②外皮性能とお勧め建材ガイドの使い方

③一次エネルギー消費量性能とお勧め設備ガイドの使い方

④地域の気候特性を踏まえた環境共生住宅

（※プログラムは変更する場合があります。）

※ご質問のある方は、セミナー中のチャットまたは参加申込のE-mailアドレスにお送りください。

講師：長谷川 敦志（一社）環境共生住宅推進協議会 企画管理部 担当部長

対象者：主に省エネ地域区分6地域で住宅の設計、施工をされている工務店・設計事務所の方

（省エネ地域区分6地域以外で、設計、施工をされている方も参加可能です。）

定員：30名（先着順。※参加費お振込み期限にご注意ください。）

■ 『お勧め建材ガイド』 <外皮6地域編>

- はじめに
- 外皮性能の基準
 - 断熱性能
 - 日射遮蔽性能
- 建材選択のポイント
 - 断熱材を選ぶ
 - 窓を選ぶ
 - 玄関を選ぶ
- お勧めする建材の組合せ
 - ご紹介する3つの外皮性能レベル
 - 記載事項
 - 組合せ例
 - 充填断熱工法・付加断熱工法レベル1～3
 - 外張断熱工法・付加断熱工法レベル1～3
 - 環境共生住宅推奨部品
- 省エネルギー基準
- 算定条件
- kkj の出版物のご紹介

レベル3 開口部強化型
充填断熱工法

性能

外皮平均熱貫流率 $U_A = 0.50$ (0.49~0.51)	高断熱の外皮 付加断熱率 $\eta_{AC} = 1.9$	高断熱の開口部 付加断熱率 $\eta_{AH} = 2.7$
---	--------------------------------------	---------------------------------------

仕様

天井 断熱材：高性能グラスウールGWHG20-34 t=310
下地材：石膏ボード t=45
○天井の断熱材の熱抵抗値 9.1 [㎡・K/W]

外壁 断熱材：高性能グラスウールGWHG36-32 t=105
○壁の断熱材の熱抵抗値 3.3 [㎡・K/W]

玄関ドア 枠：金属製断熱構造または樹脂と金属の複合材料製
付：金属製断熱フラインジ構造
○玄関ドアの熱貫流率 1.90 [W/㎡・K]

窓 サッシ：樹脂製複層
ガラス：Low-E複層ガラス(G14mm以上)
※ガラスのU値は気密性能が0.1以上でU値が0.8以下の中空ガラスに限定されている
○窓の熱貫流率 1.90 [W/㎡・K]
○窓の付加断熱率 0.46

床 断熱材：高性能グラスウールGWHG36-32 t=105
土間上：押出成形スチレンフォームXPS30A t=30
※土間上は、気密性能向上の観点から断熱材を施工している
仕上材：畳厚 1~12cm
水廻り：タイル t=12 または断熱費 t=55
○床の断熱材の熱抵抗値 3.3 [㎡・K/W]

注：経路断熱材を使用する際には、気密性を確保するため、断熱材の内部に気密シートを施工してください。(気密シートは断熱材の裏面に貼ります)

充填断熱工法 開口部強化型

厚さ (mm) 窓型

55+155	窓型
105	窓型
105	窓型
12	窓型
55	窓型
0.46 ^①	窓型
0.46 ^②	窓型
0.46 ^③	窓型
0.46 ^④	窓型

熱取得率

プロノーバ ファンローバ [K2仕様] (三菱電機)	1.90 ^②	0.065 ^③
ジェスタ2 [K2仕様] (LIXIL)	1.90 ^②	0.065 ^④
Inno Beat D50 樹脂製断熱付 (DYN AP)	1.90 ^②	0.065 ^⑤

① 断熱材の厚さ
② 断熱材の厚さ(断熱材の厚さ)と開口部の断熱率(開口部の断熱率)の積算値(開口部の断熱率)の積算値(開口部の断熱率)の積算値(開口部の断熱率)
③ 断熱材の厚さ(断熱材の厚さ)と開口部の断熱率(開口部の断熱率)の積算値(開口部の断熱率)の積算値(開口部の断熱率)
④ 断熱材の厚さ(断熱材の厚さ)と開口部の断熱率(開口部の断熱率)の積算値(開口部の断熱率)の積算値(開口部の断熱率)
⑤ 断熱材の厚さ(断熱材の厚さ)と開口部の断熱率(開口部の断熱率)の積算値(開口部の断熱率)の積算値(開口部の断熱率)

■ 『お勧め設備ガイド』 <一次エネルギー消費量6地域編>

- はじめに
- 住宅のエネルギー消費性能
 - 2-1 一次エネルギー消費量による評価
 - 2-2 一次エネルギー消費量の計算方法
 - 2-3 平成28年省エネルギー基準およびZEHにおけるエネルギー消費性能の基準
- 設備機器選択のポイント
 - 3-1 暖冷房設備
 - 3-2 換気設備
 - 3-3 給湯設備
 - 3-4 照明設備
 - 3-5 コージェネレーション設備
 - 3-6 太陽光発電設備
 - 3-7 太陽熱利用給湯設備
- お勧めする設備機器の組合せ
 - 4-1 算定条件と掲載する設備機器
 - 4-2 記載事項
 - 4-3 全Caseに共通する設備
 - 4-4 電気とガスを併用する住宅
 - ① 外皮性能省エネ基準の場合 (5 Case)
 - ② 外皮性能 ZEH レベルの場合 (5 Case)
 - 4-5 オール電化住宅
 - ① 外皮性能省エネ基準の場合 (2 Case)
 - ② 外皮性能 ZEH レベルの場合 (2 Case)
 - 4-6 環境共生住宅推奨部品
- 参考情報
 - 5-1 地域の区分
 - 5-2 年間の日射地域区分
 - 5-3 算定に用いた建物のプラン
- kkj の出版物のご紹介

4-4 電気とガスを併用する住宅

CASE 2-4

性能

基準一次エネルギー消費量 (0.1kWh/㎡・年)	設計一次エネルギー消費量 (0.1kWh/㎡・年)	BEI (0.70)	削減率 30% 正付削減
80.6	62.9	0.70	30%

仕様

外皮性能
平成28年省エネルギー基準
 $U_A = 0.57$
高断熱の外皮
付加断熱率
 $\eta_{AC} = 2.0$

高断熱の開口部
付加断熱率
 $\eta_{AH} = 2.0$

暖房設備：ルームエアコンディショナー
(床下設置)
・エネルギー消費効率の区分 主たる暖房(「1」)その他暖房(「1」)
・小容量の高性能冷暖房コンプレックスを併用しない

冷房設備：P19 併用
照明設備：P19 併用

換気設備：ダクト式第一種換気設備(熱交換型)
・比熱貫流率 0.49 [W/㎡・K]
・熱交換効率 65%
・暖気交換率 90%
・暖気と冷気の比率による連続換気効率の修正係数 0.9
・換気設備に付する住宅用換気設備の削減による連続換気効率の修正係数 1

給湯設備：電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯温水暖房機
・給湯本機第一種型
・給湯部：HP・ガス併用
・ガス給湯機、湯量入り
・給湯機、水栓、湯沸かし付併用

暖房設備：湯水保熱機/電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯温水暖房機
(主たる暖房)
・削減率 70%、暖気側の削減率を削減した削減率は入力しない
・削減率 90%
・給湯本機第一種型、給湯部 湯量入り付併用
・給湯機、水栓、湯沸かし付併用

窓型

ロストノット ファンローバ (三菱電機)	機種 天井カセット型 比消費電力 0.21 [W/㎡・h] 有効換気量 0.97 ^① 連続交換率 82% ^② ※1 給気量 100% (100%) の場合 ※2 カリロイが設置された場合
ダクト式 第一種換気 設備 (熱交換型)	機種 床置き型 比消費電力 0.28 [W/㎡・h] 有効換気量 0.95 ^① 連続交換率 83% ^② ※1 給気量 100% (100%) の場合 ※2 カリロイが設置された場合
換気	機種 床置き型 比消費電力 0.49 [W/㎡・h] 有効換気量 0.97 ^① 連続交換率 90% ^② ※1 給気量 100% (100%) の場合 ※2 カリロイが設置された場合

【参加申込み方法】

参加申込み：左記のメールアドレスからお申込みください。E-mail：webseminar@kkj.or.jp

メールの件名を「**第16回10/12(水) Webセミナー参加希望**」として、以下の【メール記載事項】を記載して、お送りください。

【メール記載事項】

- ・**会社名、所属、氏名、資料送付先住所、連絡先電話番号、E-mail、参加費振込予定日**
- ・複数人でお申込みの場合は、参加者全員の【メール記載事項】を記載してください。

※取得した個人情報は本セミナーの事務に必要な範囲及び当協議会からのご案内を送らせていただく場合以外には使用いたしません。

参加費：1,500 円/人（税込、資料代を含みます。）

※kkj の正会員・情報会員・地域会員は 1,000 円/人

- ・事前に参加申込みのメールをご送信の上、以下の金融機関の口座に参加費をお振込みください。資料送付の関係上、**10/5(水)**までにお振込みをお願いします。
- ・お振込み確認後、Zoom 会議の ID とパスワードをメールにて、資料を郵送にてお送りいたします。資料郵送時に領収書を同封いたします。
- ・なお、10/5(水)までにお振込みの確認ができない場合は、キャンセル扱いとなりますので、予めご了承ください。

【振込先】三井住友銀行 東京公務部（銀行コード：0009 店番号：096）

普通預金 164138 一般社団法人 環境共生住宅推進協議会 宛

- ・恐れ入りますが、振込手数料はご負担願います。
- ・お振込みの際は、「振込依頼人名」の前にセミナー番号「16」を必ずご入力ください。

（例：16 カンキョウハナコ）

【本件に関するお問合せ先】

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会（kkj）事務局

Tel：03-6265-3242 Fax：03-6265-3243

E-mail：webseminar@kkj.or.jp

【ご参考】

- ・『お勧め建材ガイド』『お勧め設備ガイド』は以下の URL の購入申込書からもご購入できます。

https://www.kkj.or.jp/contents/check_publication/books_kenzaiguide/

- ・その他、環境共生住宅推進協議会（kkj）の出版物・ツールは以下の URL をご確認ください。

https://www.kkj.or.jp/contents/booktool_index.html